

令和5年度 第1回郡上市行政改革推進審議会 要録

日 時

令和5年7月14日（金）10時00分～10時45分

会 場

郡上市役所本庁舎 4階大会議室

出席委員

尾藤望会長、昇秀樹会長代理、井上勇治委員、蒲智美委員、増田雅幸委員、河合美世子委員、神谷公眞委員、臼田啓子委員、橋川健祐委員

欠席委員

大坪千草委員

職務による出席者

河合市長公室長、入木田企画課長、河合改革推進係長、村山主任

会議内容

1. 開会

2. あいさつ

<会長あいさつ要旨>

本日は、第1回郡上市行政改革審議会並びに行政点検外部評価委員会の開催となるが、よろしくお願ひしたい。

私事ではあるが、昨年より岐阜県の包括外部監査を務めており、国や県、又は市町村それぞれに抱えている問題に違いはあるも、市民目線で意見いただくことが大事であると感じている。行政の考え方と、一般市民の感覚にずれがある部分もあり、皆さんからの活発な意見をいただくことで、郡上市がより良い運営になっていくのではないかと考えていますので本日もよろしくお願ひしたい。

<市長公室長あいさつ要旨>

今年度初めての行政改革推進審議会、行政点検外部評価委員会の開催となるが、ご多用の中、お集りいただき感謝申し上げます。

本日もすっきりしない天気であるが、一昨日から昨日の朝にかけて郡上市でも、大雨警報、その後、土砂災害警戒情報が発令をされた。幸いなことに大きな被害は発生していないが、八幡町小那比地区では50ミリを超える雨が2時間続くなど、各地で短時間に強い雨が降るといった状況で、長良川の水位も1時間に1メートル以上、上昇した。市の各部において、災害対策に万全を期しているところであるが、改めて確認するよう指示しているところであり、各委員の皆様におかれましても、自宅や地域の防災について、今一度ご確認をお願ひしたい。

それから、今年は4年振りにフルサイズでの郡上おどり、白鳥おどりの開催となるので、多くのお客様に会場いただき、活気あふれるシーズンになることを期待している。

さて、本日は行政改革大綱の一部改訂に係るスケジュール（案）についてご報告をさせていただくとともに、行政点検外部評価の選定にご協力をお願ひ申し上げます。

3. 報告事項

(1) 第3次郡上市行政改革大綱（一部改訂版）の策定スケジュール（案）について

資料1

■事務局より資料1に基づき、策定スケジュール（案）を説明。

□審議会委員からの意見、質疑応答

(委員) 具体的なタイムスケジュールは概ねいつぐらいに決まりそうであるか。

(市) 8月末に実施する郡上市行政点検外部評価委員会の時に改めて日程の詳細をお伝えさせていただく。

(2) 公共施設適正配置計画に関する取組状況について

資料2

資料3

■事務局より資料2、3に基づき、公共施設適正配置計画に関する取組状況を説明。

□審議会委員からの意見、質疑応答

(委員) 近年、「失われた30年」という言葉があり、政治、経済、文化という三分類のうち経済は確かに「失われた30年」だと感じる。しかし、政治の分野からすれば地方分権改革がこの間に行われたり、文化の分野ではNPO法人が設立されたりと成熟化してきた部分があるということも評価すべきかと思う。その観点で質問をさせていただくが、「地域住民と情報の共有化を図った上で合意形成のもとに進める」であるとか、「関係する市民等への丁寧な説明を行い、理解を求めながら必要な意見は計画に反映させ成案とする」といったことを1990年代に公共施設を設置する際も、行政は同様の手法を行ってきたのか教えていただきたい。

(市) 過去においても、個々の地権者説明や自治会説明等々は行ってきたが、丁寧かという点では、十分ではなかったかもしれない。現在、公共施設については老朽化が一番の問題となっており、既存施設全てを維持、更新することは困難であるため、利用者及び市民等との協議を踏まえうえて本計画の推進を進めてきたいと考えている。

(委員) 行政施策一般を考えると、行政が施策を実施する際にパブリックコメントやワークショップなどは1990年代まではほとんどの人は知らなかったと思うが、施策の大きさに応じて市民参加の手法を行政職員が住民の意向を踏まえずに進めてきたこともあると思う。2000年代以降に市民参加が一般的になってきたと思うがどうだったか。

(市) 一例として合併前の八幡町では、1990年代は景観やまちづくりが盛んになってきた時代であり、例えば住民の方の自宅などを規制するとなると行政だけでできないため、住民の方々と膝詰めで話し合ってきた分野もあったが、ワークショップについては1990年代後半から都市計画分野では取り入れていたものの、まだ一般的な手法ではなかった。今では当たり前であるが、徐々に他の分野に広がっていったと考えている。

(委員) 明宝の小川小学校の廃校や、大和地域の小学校統廃合が進んでいる最中に、この「公共施設再編行動計画（案）」を策定し、実施しているという理解でよいか。

(市) この計画は、種類や地域別等に建物を分類し、それぞれの建物の築年数や利用頻度等を踏まえながら、建物それぞれをどのようにしていくかを示したもので、その計画を基に、施設の再編等の取組みを進めているところである。委員が言われた学校の統廃合については、この計画以前に方向性を示し、協議を進めてきたものであり、関係団体等の合意形成が図られ、既に進展しているところである。い

ずれにしても、それぞれの分類で市の考えを示し、関係各所の皆様と合意を図り、成案とすることを順次進めていく。

(委員) 「公共施設再編行動計画(案)」の策定については、今年度中に策定できるようにお願いしたい。また、市のホームページに公表したことによる反響はあるか。

(市) 行動計画(案)を市民の方々が見られることは少ないと思われるが、ホームページ公表後は、地域住民や関係者との協議を進めることとしている。

4. 意見交換

特になし。

5. 閉会

以上、10時45分終了